

全国ろうきんの概要

(2016年度末現在)

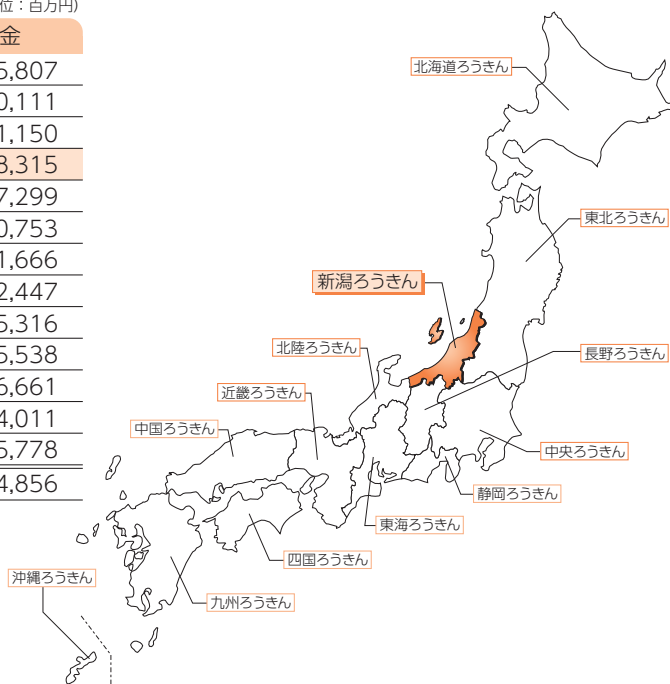
- 全国のろうきんは全国労働金庫協会(労金協会)と労働金庫連合会(労金連合会)を中央機関とし、13金庫633店舗が一大ネットワークを形成しています。
- 労金協会は全国各ろうきんの指導・調整・連絡・渉外などを、労金連合会は全国各ろうきんの親金庫として資金の需給調整・運用や全国的な統一業務を行っています。
- 全国の店舗は、労働金庫総合事務センターを中心にオンラインで結ばれ、内国為替やCDネットなど迅速、正確なサービスを提供しています。

全国ろうきんの概況

(単位：百万円)

金庫名	預金	貸出金
北海道	960,767	655,807
東北	1,886,107	1,120,111
中央	5,886,141	3,781,150
新潟県	782,084	378,315
長野県	631,532	327,299
静岡県	1,018,026	700,753
北陸	734,303	401,666
東海	1,567,188	1,302,447
近畿	2,092,146	1,245,316
中国	1,104,219	625,538
四国	586,588	366,661
九州	1,755,901	1,184,011
沖縄県	240,683	135,778
合計	19,245,691	12,224,856

金庫数	13 金庫
店舗数	633 店舗
常勤役員数	10,693 人
団体会員数	52,544 会員



プロフィール

ろうきん業態セーフティネット

お客様の預金を守る公的なセーフティネットとして「預金保険制度」があります。ろうきんでは、この「預金保険制度」とは別に、ろうきん業態独自のセーフティネットを用意しています。

1番目の柱は、労金協会及び労金連合会による定期的な経営状況のモニタリングと労金協会内の労働金庫監査機構による監査です。経営上の問題が認められる場合には、その問題の程度に応じて必要な措置を講じ、問題の早期改善をはかることとしています。また、労働金庫監査機構は全国各ろうきんの監査を実施し、指導を行っています。

2番目の柱は、労金連合会の金融機能を活用した「ろうきん相互支援制度」です。万一、ろうきんに経営上の問題が生じ、支援が必要となった場合には、労金連合会が緊急資金の貸出しや資本注入、資金援助を行うことにより経営をサポートします。

